

2025年 新年号

せせらぎ

No. 510

水を大切に



編集・発行

福岡市管工事協同組合

広報・企画・情報委員会

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目20-10

TEL 092-531-3066 FAX 092-522-5287

メール(総務) fukukankyou@fuku-kan.com

URL <https://www.fuku-kan.com>

きのとみ

乙巳

「乙」はしなやかに伸びる草木を表し

「巳」は脱皮して成長する様子から

「再生と成長」を意味します

困難があっても柔軟に対応しながら

努力を重ねることによって物事が安定し

成長発展に繋がる年になるでしょう



位置

北緯 33°25'17"～33°52'17"
東経130°02'06"～130°29'50"

東京(約900キロ)、大阪(約500キロ)よりも韓国・釜山(約200キロ)の方が近いという、この地理的条件から古来より大陸への玄関口としての役割を担ってきました。

面積

343.39km²

明治22年の市制施行時の面積は5.09km²。100年で約66倍に広がったことになります。

人口

1,659,098人
男/783,011人 女/876,087人

890,717世帯
(令和6年12月1日現在推計)

福岡はこんな街

福岡市ミニデータ



■福岡市章

現在の福岡市章は、明治42年10月に制定されました。かたかなの「フ」を9個組み合わせて「福」を表しています。

●福岡市の4つの都市像

福岡市は、まちづくりの目標として次の4つの都市像を掲げました。強い意志とたゆまぬ努力をもって、この都市像の実現をめざします。

1. 自律し優しさを共有する市民の都市
2. 自然を生かす快適な生活の都市
3. 海と歴史を抱いた文化の都市
4. 活力あるアジアの拠点都市

目次

1. 謹賀新年	1
2. 年頭のご挨拶(藤理事長)	2
3. 新年のご挨拶(高島市長)	3
4. 新年のご挨拶(大森顧問)	4
5. 新年のご挨拶(下川水道事業管理者)	5
6. 新年のご挨拶(天本道路下水道局長)	6
7. 新年のご挨拶(全管連藤川会長)	7
8. 令和7年新年賀詞交歓会盛会裡に開催	9
9. 理事会報告・・・12/10 定例、1/9 定例	11
10. 官庁だより	
NO.1 令和7年度福岡市排水設備工事責任技術者の登録申請について(福岡市道路下水道局)	13
11. 青年部会だより	
新年のご挨拶(青年部会藤岡会長)	15
12. 令和6年度後期 技能検定試験水準調整会議開催・後期技能検定配管実技試験実施	17
13. 緊急連絡・指令模擬訓練実施	18
14. 水道関連法規とバルブ⑨	19
15. 交通安全コーナー・・・贖いの日々(人の命を奪ってしまった)	26
16. 第33回 あたまの体操	27
17. 組合のうごき	28

謹 賀 新 年

2025年 元旦

福岡市管工事協同組合



理 事 長	藤	成	徳
副 理 事 長	松	尾	浩 充
副 理 事 長	阿	部	盛 俊
総務部長理事	岩	下	達 也
総務担当理事	山	下	裕 美
総務担当理事	石	井	純 友
上水道部長理事	松	本	勝 海
上水道担当理事	高	田	拳
上水道担当理事	八	木	廣 光
下水道部長理事	宮	寄	広 見
下水道担当理事	小	金	丸 剛
専 務 理 事	江	頭	孝 一

組 合 員 一 同

職 員 一 同

年頭のご挨拶



理事長 藤 成 徳

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

組合員の皆様には、今年も、昨年引き続き、運営にご理解とご協力を願ひいたします。

昨年は、能登地震に始まって、台風10号による東海地方、九州南部の大雨さらには能登半島、北陸、東北の大雨と風水害の多かった年でした。今年は、穏やかな年であることを願っています。

組合は、人が生活するうえで不可欠な水の提供をはじめ、ライフラインを維持するという重要な役割を担っています。近年災害が激甚化、頻発化している中で、その発災初期から必要となる応急給水のために、最前線で従事することになります。能登半島地震では、福岡市からも、二班を派遣し応急復旧に取り組んでおります。これからも、市民生活に貢献できる組合組織の強化、また、その役割を果たし続けるための経営の安定化にむけ、取り組んでいきたいと考えております。

さて、気になることは、人手不足が企業に与える影響が、一段と深刻化していることです。残業の上限規制が強化されたことで、少子高齢化を背景に深刻化する労働力不足に拍車をかけ、人材の争奪戦が激化、賃金面で大手企業の賃上げベースに追いつけないことで、中小零細企業を中心に人材の確保、定着は難しくなることが予想されます。また、原材料の値上がりによる建設資材の調達の難しさもあり、先の見えない状態が続いています。

巳年は、成長と変化の象徴とされ、物事が大きく進展する年として知られています。消費が喚起され、国内景気が活発化し、経済の好循環が生まれる明るい年になりますことを祈念し、組合員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新 年 の ご 挨 拶



福岡市長 高 島 宗一郎

あけましておめでとうございます。新年の始まりにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

福岡市管工事協同組合の皆さまには、上下水道をはじめ、給排水や空調設備の整備など、豊かで快適な市民生活のために日々ご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

3 月には、福岡県西方沖地震の発生から 20 年の節目を迎えますが、いつ起きてもおかしくない大規模災害に備え、福岡市では、防災対策や災害時の支援の充実に一層取り組み、災害に強いまちづくりを進めていきます。とりわけ重要なライフラインである水道管の耐震化を着実に進めていくためには、福岡市管工事協同組合の皆さまのご協力が不可欠ですので、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年も福岡市の人口は増え続け、市税収入は過去最高を更新、基準地価は 12 年連続で上昇となるなど、福岡市の勢いを象徴するような一年でした。

都心部では、天神ビックバンや博多コネクティッドにより、続々と新しいビルが誕生し、産学官の連携組織「TEAM FUKUOKA」による、国際金融機能の誘致も着実に実績を積み上げています。引き続き、高付加価値なビジネスの集積を図り、自己実現ができる舞台を増やすことで、福岡を「より大きな夢が叶うまち」へとアップデートさせていきます。

また、街が生まれ変わるこのタイミングで、都心部に木々や緑を積極的に取り入れていきたいと考えています。3 月の「Fukuoka Flower Show」プレイベント開催などの一人一花運動の取り組みとあわせて、市民や働く皆さまが憩える、緑や花があふれる街を作っていきます。

このほかにも、福岡市の魅力を高めるたくさんのプロジェクトが進行中で、まもなく福岡空港の増設滑走路の運用も開始されます。この機を逃がすことなく、福岡市の更なる成長に向けて、邁進していきたいと考えています。

昨年、まちづくりの長期計画である「マスタープラン」を策定しました。子どもたちや若者をはじめとした、市民の皆さまと一緒に作り上げたこの計画に基づき、「人」、「環境」、「都市活力」がより高い次元で調和したアジアのリーダー都市を目指し、今年もチャレンジを続けていきます。

最後に、みなさまの今年一年のご健勝とご活躍を心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

新 年 の ご 挨 拶



福岡市管工事協同組合顧問
福岡市議会議員 大 森 一 馬

あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃から組合員の皆様におかれましては、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も福岡の街は国内外からの多くの旅行者で賑わいましたが、博多港へ大型クルーズ船が多数寄港したことで、より多くの外国人旅行者の姿が目につきました。今年の3月28日に福岡空港国際線ターミナルビルがグランドオープンすることで、更にインバウンド需要が高まり、本市が更に賑わうことになることを期待しています。

一方で、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争、アメリカの政権交代など、国際情勢は混沌としており、原材料や原油価格の高騰が続くことで、その影響が建設業界に及ぶことが懸念されます。

また、能登半島地震後も、各地で大雨などによる激甚災害が頻発しているため、老朽化した上下水道施設の更新や耐震化による強靱化を加速させ、組合員の皆様のお力をいただきながら、災害に強い都市づくりの取り組みを進めなければならないと思っております。

しかしながら、多くの中小企業や小規模事業者が慢性的な人手不足に苦しんでおられる現状があります。特に技能者・技術者の不足や作業員の高齢化など業界を取り巻く環境は深刻であり、早急に「担い手の確保・育成」のための手立てを講じる必要があると強く認識しています。

そのためには、ICTを活用する等の働き方改革をより一層進め、働くすべての方が、やりがいと共に働く幸せを実感しながら活躍でき、特に若い方々が魅力を感じるように環境を整えていかなければなりません。

本年も引き続き、上下水道関連事業の促進並びに地場中小企業の支援対策を推し進めるなど、経営の安定化が図られるよう、より一層の努力を重ねてまいりたいと考えておりますので、組合員の皆様方におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、福岡市管工事協同組合並びに組合員の皆様方の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

新 年 の ご 挨 拶



福岡市水道事業管理者 下 川 祥 二

あけましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

福岡市管工事協同組合の皆様におかれましては、日頃から本市水道事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、1月の「能登半島地震」に続き、8月にも宮崎で震度6弱の地震が起き、初の「南海トラフ地震情報」が発表されました。また、大雨による被害も各地で頻発したため、日本国内で広く警戒感が高まり、多くの人々が、大規模災害に備えることの重要性を再認識した年だったと思います。

福岡市水道局では、大規模災害が発生しても、安全で良質な水道水が供給できるよう、配水管の「耐震ネットワーク工事」などを進めるとともに、災害時に市民生活等への影響を最小限にとどめるため、災害時応急体制の充実化を図っています。昨年11月には、市外・県外の36事業体が参加した「第11回日本水道協会九州支部合同防災訓練」を、12年ぶりに福岡市で開催しました。警固断層南東部から地震が発生したことを想定した応急給水・応急復旧訓練でしたが、福岡市管工事協同組合の皆様のご協力もあり、九州管内の各水道事業体の相互応援体制を確立するという目的を果たすことができましたことを、改めて感謝申し上げます。

現在、国内外ともに先が見通せない不安定な状況下であり、また、資材価格のさらなる高騰や、次世代を担う若手人材の不足も依然として続いているなど、水道事業を取り巻く環境は、非常に厳しくなっております。

このような中でも、将来にわたって安全で良質な水道水を安定的に供給し続けることが、水道事業者としての使命であり、引き続き、老朽化した配水管の計画的な更新や耐震化、浄水場の再編などを着実に進めてまいります。また、事業運営のあらゆる分野で、ICTやAI等の先端技術の活用を図り、生産性の向上にも全力で取り組み、効率的な事業運営を進めてまいりますので、今後とも、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年も福岡市管工事協同組合の皆様にとって、幸多い年となりますよう、心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新 年 の ご 挨 拶



福岡市道路下水道局長 天 本 俊 明

新年あけましておめでとうございます。

福岡市管工事協同組合の皆様方におかれましては、ご家族ともども
幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市下水道事業の推進に多大なご支援とご協力を
賜り厚くお礼申し上げます。

下水道は、浸水対策やトイレの水洗化などを通じ、市民に安全で快適な生活環境を提供すると
ともに、海や河川などの公共用水域の水質保全に欠くことのできない重要な役割を担っております。

本市の令和5年度末の下水道人口普及率は99.7%に達し、これも長年にわたる皆様方のご尽力
の賜と心より感謝申し上げます。

さて、近年、自然災害の激甚化・頻発化、地球温暖化の進行や物価の高騰など、社会は新たな課題
に直面しており、下水道にもこうした課題の解決に向けた積極的な取り組みが求められております。

このような中、下水道サービスを安定的に継続するため、「福岡市下水道経営計画2024」（計画
期間R3～R6）に基づき、改築更新を最重点事業として浸水対策や地震対策にも積極的に取り組ん
でいます。令和6年度は新たに「都心部下水道主要施設再構築プラン」に着手し、ポンプ場や幹線管
渠等の複数の施設について再構築を進めております。また、SDGsの理念を踏まえ、下水道から生み
出される様々な資源の有効活用を進めております。

さらに、福岡市において4年毎に策定している下水道経営計画は、令和6年度が現行計画の最終
年となります。このため、令和7年度以降の新たな経営計画策定に向け検討を進めております。

皆様方におかれましては、市民のニーズが多様化する中、第一線の現場で日々きめ細やかに対応
いただいていることに敬意を表します。引き続き、皆様方と連携を密に図りながら、市民生活に欠くこ
とのできない財産である下水道をしっかりと守り抜き、「次世代に誇れるまち」へ、確実な積み重ねをして
まいる所存でございます。皆様方のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、福岡市管工事協同組合の皆様方の益々のご発展とご活躍を心からお祈りいたしまして、
新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



能登半島地震での教訓を踏まえ
より円滑な復旧支援体制を進めよう

全国管工事業協同組合連合会
会長 藤川 幸造

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、ちょうど1年前の令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、水道施設の耐震化の進んでいない半島先端部で発生したために、水道システムの全てのプロセスで機能停止に陥るなど、甚大な被害をもたらしました。全管連では応援水道事業体の要請により、全国から117団体が被災地に駆け付け、延べ作業日数約2,500日、約1万6千人が厳しい環境下で懸命に応急復旧活動に従事し、まさに総力を挙げて取り組んでまいりました。一方、その過程で水道事業における災害復旧のあり方や管路の耐震化の考え方について改めて課題認識を新たにしたところです。

とりわけ実感したのが、水道復旧を迅速に進めるための制度面・ルール面の課題です。

具体的には、全管連傘下の組合員は準備していても、自治体によっては支援に行けないところがあり、そのために組合員も現地でお手伝いできないというケースもありました。また、石川県から応援要請があっても費用負担についてのケアがなく、それで現地に入るのを逡巡する自治体もありました。この間、「業者が足りないから復旧が遅れている」といった報道に触れて、忸怩たる思いがありました。何より我々が迅速に現地に入れるようなシステムなりルールの変更が必要と強く感じています。

こうした中、日本水道協会の地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会が昨年設置され、災害対応力の更なる向上を図るため、手引きの改訂を行うこととなりました。全管連では、改訂に関する事項を分担する二つの小委員会のうち、応急給水・応急復旧等に関する小委員会にオブザーバー参加することで、今後、本会の応急復旧対応マニュアルの見直しも視野に入れ、より円滑な復旧支援体制を構築するべく、新たなルールづくりに寄与してまいります。

しかしながら、何と言っても最大の課題は「人」の問題です。今回の震災では1社単独で1チームを編成できない会社もあり、マンパワーという面で組合員各社の弱体化が進んでいることが露呈したようにも感じています。会員の8割以上が従業員20人未満の小規模な企業となっていますが、災害時にはこのような会社が実際に作業を行います。作業を行うには継続的に会社が運営できるようにしていかなければなりません。この点について、声を大にして言いたいのは、少なくとも今の「力」を維持しなければならず、そのためには全国の水道事業体が管路更新・耐震化を計画的・継続的に実践していただくことが大前提になるということです。

能登半島地震を教訓に、地元管工事業者が迅速かつ十分に活動に従事するために平常時からの水道管路更新・耐震化工事に従事できるよう、また、工事の発注に当たっては工事時期の平準化と適正工期確保などをはじめ、積算基準・工事歩掛表の改善、公共工事設計労務単価の引き上げについても不可欠です。昨年の中野国土交通大臣や高橋副大臣、横山財務副大臣との面会時にも、強く訴えてご理解をいただいたところです。

また、災害時に命の水を守るという我々の社会的使命を引き続き果たすためにも、管工事業界への若年者の入職促進と技術技能の継承が鍵となります。業界の現状及び動向を把握し、諸課題について迅速かつ的確に対応する必要があることから、令和5年の組織改編で新設した「災害対策」「配水管工事戦略」「未来創造検討」の3委員会を引き続き開催し、活発な意見交換、外部有識者からのヒアリング等を行い、本会の将来展望を検討するとともに、山積する諸課題に対応してまいりますので、会員各位におかれましても、引き続きのご協力をお願い申し上げる次第です。

さて、今年は7月に通常総会を東京で、9月に全国大会を北海道札幌市で、初めてとなる分離開催で行います。全国大会は開催地・札幌市を擁する北海道ブロックの北海道管工事業協同組合連合会(会長・佐藤安幸氏)に担当いただきます。北海道連においては、参加される方々を迎える準備を進めておりますので、全国から会員各位の多数がご参加を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員団体の一層のご発展と所属員各位の事業のご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

令和7年 新年賀詞交歓会盛会裡に開催

日時 令和7年1月9日(木)午後6時

場所 ソラリア西鉄ホテル



藤理事長挨拶

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本日は、公務ご多忙のなか、福岡市副市長光山様をはじめ、市議会議員の先生方、関係各局の皆様のご臨席を賜り誠に有難うございます。ご来賓の皆様には、平素より、ご支援、ご厚情を賜り厚く御礼を申しあげます。また日頃、資機材のお取引をいただいております賛助会員の皆様にも多数のご出席をいただき心より御礼を申し上げます。

昨年は、能登半島地震に始まって、台風10号による東海地方、九州南部の大雨さらには能登半島、北陸、東北の大雨と風水害の多かった年でした。今年は、穏やかな年であることを願っています。

組合は、人が生活するうえで不可欠な水の提供をはじめ、ライフラインを維持するという重要な役割を担っています。近年災害が激甚化、頻発化している中で、その発災初期から必要となる応急給水のために、最前線で従事することになります。能登半島地震では、福岡市からも、二班を派遣し応急復旧に取り組んでおります。これからも、市民生活に貢献できる組合組織の強化、また、その役割を果たし続けるための経営の安定化にむけ、取り組んでいきたいと考えております。

さて、気になることは、人手不足が企業に与える影響が、一段と深刻化していることです。残業の上限規制が強化されたことで、少子高齢化を背景に深刻化する労働力不足に拍車をかけ、人材の争奪戦が激化、賃金面で大手企業に太刀打ちできない中小零細企業の人手不足を悪化させています。また、原材料の値上げによる建設資材の調達の難しさもあり、先の見えない状態が続いています。

巳年は、過去の不況からの回復や蓄積が期待される年ともいわれています。消費が喚起され、国内景気が活発化し、経済の好循環が生まれる明るい年になりますことを祈念し、本日、ご列席の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



挨拶 光山副市長



乾杯音頭 下川水道事業管理者



万歳三唱 天本道路下水道局長



会場の様子

第14回 定例理事会報告

日 時 : 令和6年12月10日(火)午後1時30分より
場 所 : 福岡市管工事協同組合会議室
出 席 者 : 藤、松尾、阿部、岩下、山下、石井、松本、高田、小金丸、江頭
委 任 者 : 八木、宮崎

定刻に至り、事務局より本日の出欠状況を報告、藤理事長、挨拶後議長に就任し議案の審議に入った。

【協議事項】

第1号議案 中間決算に関する件

岩下総務部長理事－10月29日に津山税理士より実施された中間決算の精査結果を報告。

引き続き、内容について説明、諮る。

藤理事長－協議の結果、説明通りで出席理事全員の承認を得た。

第2号議案 定款の件

事 務 局－定款・規約改正委員会で定款の一部追加「役員の要件」について審議した結果について説明、諮る。

藤理事長－協議の結果、説明通りで出席理事全員の承認を得た。

第3号議案 理事の定数の件

事 務 局－前回の理事会に引き続き、理事の定数について諮る。

藤理事長－投票の結果、理事の数を2名減らすことで出席理事全員の承認を得た。

【報告事項】

1.寒波による緊急時の協力依頼について

事務局－福岡市水道局から10月10日付で寒波等による水道管や水道メーターの凍結及び破裂事故の発生時に修理等の迅速な対応の協力依頼があった。組合員の協力のもと災害時(寒波)における組織・動員体制を整え対応する。尚、組合員69社130台の駐車許可申請があった旨報告。(出席理事全員了承)

2.令和7年度資材見積提出について

事務局－令和7年度資材見積を取引メーカー及び商社(計28社)に依頼する旨報告。
(出席理事全員了承)

3.緊急連絡指令模擬訓練について

事務局－平成17年3月に福岡市水道局と締結した「災害時における水道の応急対策に関する協定書」に基づき、令和6年12月19・20日に緊急連絡・指令模擬訓練を福管協理事12名、メンテナンス登録業者13社、資機材メーカー・商社25社(水道施設等の応急復旧に要する資材の供給協力協定締結会社)参加のもと実施する旨、報告。
(出席理事全員了承)

4.職員の賞与について

岩下総務部長理事－12月10日に支給する旨、報告。(出席理事全員了承)

引き続き、組合のうごき、今後の予定を説明。

本日の全ての案件を終了した。時に午後2時15分。

第15回 定例理事会報告

日 時 : 令和7年1月9日(木)午後5時00分より
場 所 : ソラリア西鉄ホテル8階
出 席 者 : 藤、松尾、阿部、岩下、山下、石井、松本、高田、八木、宮嶋、小金丸、江頭
定刻に至り、事務局より本日の出欠状況を報告、藤理事長、挨拶後議長に就任し議案の審議に入った。

【協議事項】

第1号議案 新年賀詞交歓会に関する件

事務局－ 本日開催の新年賀詞交歓会の進行及び出席状況を説明、諮る。
藤理事長－ 協議の結果、説明通りで出席理事全員の承認を得た。

第2号議案 令和8年度新年賀詞交歓会開催日に関する件

事務局－ 令和8年度の賀詞交歓会を1月8日(木)ソラリア西鉄ホテルで開催する旨説明、諮る。
藤理事長－ 協議の結果、説明通りで出席理事全員の承認を得た。

【報告事項】

1. 令和7年度穿孔工事施工業者公募について

事務局－ 令和7年度穿孔工事施工業者公募をする旨報告。
(出席理事全員了承)

2. 令和7年度漏水発生給水管修理単価契約請負工事業者公募について

事務局－ 令和7年度漏水発生給水管修理単価契約請負工事業者公募をする旨報告。
(出席理事全員了承)

3. 令和7年度給排水メンテナンスセンター施工業者公募について

事務局－ 令和7年度給排水メンテナンスセンター施工業者公募をする旨報告。
(出席理事全員了承)

本日の全ての案件を終了した。時に午後5時15分。



●組合員各位には1月6日に通知しております。

(公 印 省 略)
下 管 第 8 5 0 号
令和6年12月26日

福岡市排水設工事責任技術者
更新対象者 様

福岡市長 高島 宗一郎
(道路下水道局下水道管理課)

令和7年度福岡市排水設備工事責任技術者の更新登録申請について（通知）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、本市下水道行政の推進につきましては、排水設備工事責任技術者としてご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年度排水設備工事責任技術者の更新登録申請受付を下記のとおり実施しますので、引き続き登録を希望される場合は、登録申請手続きをお願いいたします。

記

1. 受付期間 令和7年1月14日(火)～令和7年1月24日(金)（土日祝日を除く）
2. 受付場所 道路下水道局管理部下水道管理課
福岡市中央区天神1丁目8番1号（福岡市役所：本庁舎6階）
3. 提出方法
 - ・ 窓口提出（窓口受付時間 9:30～11:30、13:00～16:00）
※申請書の提出は代理の方でも構いません。
 - ・ 郵送提出（簡易書留またはレターパックで郵送してください）
※令和7年1月24日（金）下水道管理課必着
 - ・ オンライン提出
令和7年1月14日（火）から福岡市ホームページの「責任技術者制度について」に申請フォームを掲載いたしますのでそちらをご確認ください。
※福岡市ホームページで「責任技術者制度」と検索いただければ、「責任技術者制度について」のページにアクセスできます。
4. 更新対象者 福岡市排水設備工事責任技術者証の有効期限が令和7年3月31日までの方

5. 申請（更新）に必要な書類

（窓口提出、郵送提出）

- ①福岡市排水設備工事責任技術者登録申請書（様式第3号）

※福岡市ホームページで「福岡市責任技術者登録申請書」と検索いただければ、申請書をダウンロードできます。

- ②福岡県下水道排水設備工事責任技術者更新講習修了証の写し（コピー）

- ③現在お持ちの福岡市排水設備工事責任技術者証の写し（コピー）

※責任技術者証の両面（表面、裏面）をコピーしてください。

- ④写真2枚（横2.4cm×縦3.0cm、申請前6月以内に撮影した上半身、脱帽したものに限ります。）

※ 内1枚は申請書に貼付してください。

※ 写真は2枚とも裏面に氏名および福岡市排水設備工事責任技術者登録番号を記入して下さい。

（オンライン提出）

- ①福岡市排水設備工事責任技術者登録申請書（様式第3号）

※福岡市ホームページで「福岡市責任技術者登録申請書」と検索いただければ、申請書をダウンロードできます。

写真（申請前6月以内に撮影した上半身、脱帽したもの）を貼り付けて、提出してください。【ファイル形式： docx（Wordデータ）】

※写真は枠内に綺麗に合うように貼り付けしてください。

- ②福岡県下水道排水設備工事責任技術者更新講習修了証の写し（スキャン）

（ファイル形式：PDF）

- ③現在お持ちの福岡市排水設備工事責任技術者証の写し（スキャン）

（ファイル形式：PDF）

※責任技術者証の両面（表面、裏面）をコピーしてください。

- ④写真データ（ファイル形式：jpg、jpeg）

（申請前6月以内に撮影した上半身、脱帽したものに限ります。）

6. 今後の流れ 登録申請された方には、登録案内書を3月31日に発送いたします。
同封の納付書にて手数料をお支払いされた後、『福岡市排水設備工事責任技術者証』を交付いたします。

<お問い合わせ先>

福岡市道路下水道局管理部下水道管理課
排水設備係

電 話 092-711-4534

新年のご挨拶

福岡市管工事協同組合青年部会
会長 藤岡 昭太

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、私たちは8月に石川県金沢市で執り行われました第28回全国管工事業協同組合連合会青年部通常総会へ福岡市管工事協同組合青年部として会員18名、事務局2名、計20名で石川県能登地方の震災被害で苦しんでおられる方々、組合員に対して少しでも活気を伝えるべく出席させて頂きました。石川県の青年部会員方々からは大変お喜びの言葉を頂き、また、水道設備の重要性、将来の水道業界の発展と課題、様々なお話を全国の青年部会員と共にさせていただきました。

それと同時に私たち青年部も1人1人が、色々と考えさせられる貴重な時間となったのも事実です。このような貴重な経験をさせていただけたのも今まで多くの諸先輩方が守ってこられた福岡市管工事協同組合青年部があつてのことだと実感しております。また、継続し活動できたのも組合員の皆様のご理解、ご協力があつてのものと思っております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度も毎年の様におこる自然災害は我々が予期せぬところで発生しておりました。台風、地震、豪雨、その自然災害で心を痛まれてる方々は福岡市管工事協同組合員の中にもたくさんおられるかと思います。

私達、管工事業界がこの地球上に存在する以上、人類、動植物、環境、AIにどう向き合っていくべきか、しっかり目を見開いて考えていかなくてはならないと思っております。そこにはやはり、次世代の存在が不可欠となってくるでしょう。組合員皆様が一番考えている、苦しんでいる部分でもあるのではないのでしょうか。そこで私たち青年部は今後の活動の一つとして、子供達が管工事業界へ関心を持ってくれる様な環境作り、イベント作りを実行し、福岡市内の小学校へ出向している次第でございます。

まだまだ私たち青年部は色々な発想と工夫で管工事業界を盛り上げることができると考えております。その為にも管工事組合、業界発展の為、また次世代が加入したくなるような青年部会を目指して精進してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが会員の皆様の御多幸と御健勝をお祈り申し上げますと共に、本年が皆様にとって素晴らしい一年になる事を祈念いたしまして年頭の挨拶に代えさせていただきます。

福岡市技能職団体連合会主催 「小学生ものづくり体験講座」に参加

福岡市技能職団体連合会が小学生を対象に、子ども達がものづくりの価値を実感するとともに、自身の将来の職業選択の幅を広げ、進路選択にいかすことができるよう、技能職者（ものづくりの専門家）による実演や子ども達が体験できる様々な分野の体験講座を実施している“小学生ものづくり体験講座”に12月6日（金）原西小学校・12月16日（月）老司小学校に訪問してきました。

我々青年部会としましては管工事業の素晴らしさや、大切さを伝えるとともに水道管材を使った「水鉄砲」を製作してもらい我々の仕事を身近に感じてもらいました。

〈体験講座の内容〉

15分 講師の話（自己紹介、職の概要、実演や体験活動の説明等）

65分 体験活動（水道管材を使った“水鉄砲”づくり）

15分 まとめ （児童の作品披露、感想、あいさつ等）



水鉄砲作成の様子



完成した水鉄砲を試している様子



のこぎり塩ビ管を切っている様子



職の説明動画を見てもらっている様子

令和6年度 後期 技能検定試験水準調整会議開催

開催日時 : 令和6年12月4日(水) 午前10時
場 所 : 福岡リーセントホテル
次 第 : (1) 福岡県職業能力開発協会挨拶
(2) 技能検定事務手引き説明
(3) 実技試験採点マニュアル説明

後期技能検定実技試験(建築配管)が福岡、久留米、北九州、飯塚の4会場で実施するにあたり水準会議が開催された。

まず、各団体から推薦を受け、福管連から選出した技能検定委員として松本勝海、松本篤史委員(福岡)、中野委員(久留米)、三小田、入船委員(北九州)、宗委員(三井)、以上6名が福岡県知事から委嘱状を受けた。

令和6年度 後期技能検定配管実技試験

令和6年度建築配管技能検定実技試験が福岡人材開発センター(福岡市東区千早)で12月17、18日に実施され翌日の19日に採点が行われ、当組合青年部会研修企画委員会及び組合職員で、今回も試験会場の準備、試験用材料の手配、作品の採点等の補佐を担当した。

また、飯塚会場(ポリテクセンター飯塚)は12月21日、北九州会場(福岡職業能力開発促進センター)は1月18日、久留米会場(久留米人材開発センター)は1月28日の実施。



採点の様子



水圧による漏水検査

緊急連絡・指令模擬訓練

平成17年3月に福岡市水道局と締結しております「災害時における水道の応急対策に関する協定書」に基づき、福岡市管工事協同組合理事、給排水メンテナンスセンター登録会社、協定締結メーカー並びに商社と緊急連絡・指令模擬訓練を実施しました。

記

日 時 令和6年12月19日(木) 20日(金) 8時30分～17時30分

内 容 緊急連絡・指令模擬訓練
1、事務局より、緊急連絡先(携帯電話等)へ発信
2、訓練参加者が応答(不在又は未応答はメッセージを残す)
3、応答又は折り返し電話を確認、時間等を記録し終了

訓練参加者 ・ 福岡市管工事協同組合理事(12名)
・ 給排水メンテナンスセンター登録会社(12社)
・ 協定締結メーカー並びに商社(25社)
「水道施設等の応急復旧に要する資材の供給協力協定」H26.4締結

シリーズ

水道関連法規とバルブ

(入門編 取水から蛇口まで)

⑨

配管・バルブコンサルタント 小岩井 隆

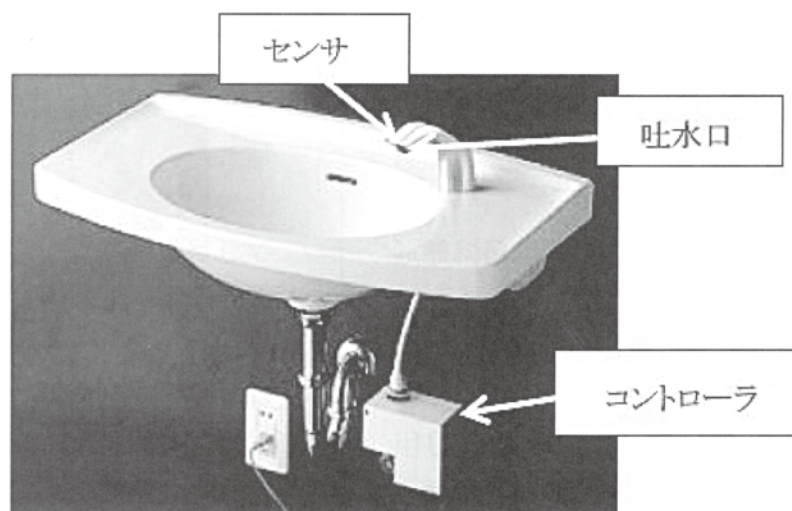
〈前号⑧から続く〉

2-16. 給水栓類 続き

〈進化する水栓類〉

●自動（単）水栓

電気開閉式と称される手洗い・洗面用専用水栓で、吐出口に手を近づけるとセンサで感知して水を流す水栓である。吐出口の手元に電磁弁を設けている。必要な時に必要な水量を吐出するので、流しっぱなしの無駄がなくかつハンドルに手を触れないため、清潔である。新型コロナ感染防止対策など、今後の伸長が見込まれる。



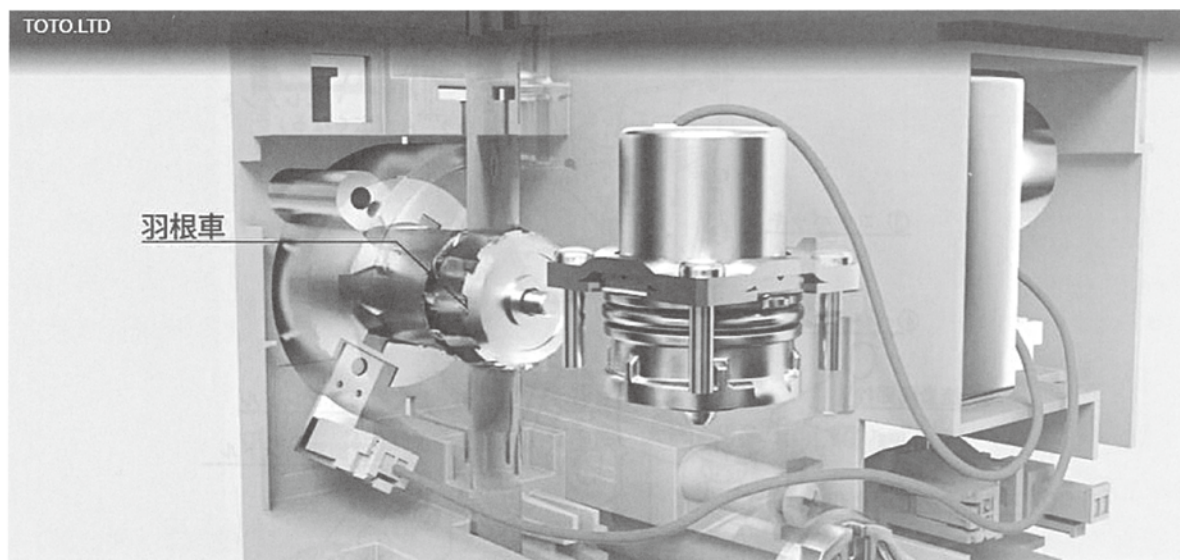
電気開閉式水栓の各部の名称例 〈出典：新版・バルブ便覧〉

●自己発電式自動止水栓「発電タイプ自動止水栓」

一般的な自動水栓は、電磁弁やセンサを駆動するために電源を必要とする。電源は、商用電気又は乾電池などである。

この進化系として、自己発電式のものが開発されている。水栓自身の水路を流れる水に水車を配して、自己発電して電気を蓄え、電磁バルブ開放の電源とするものである。

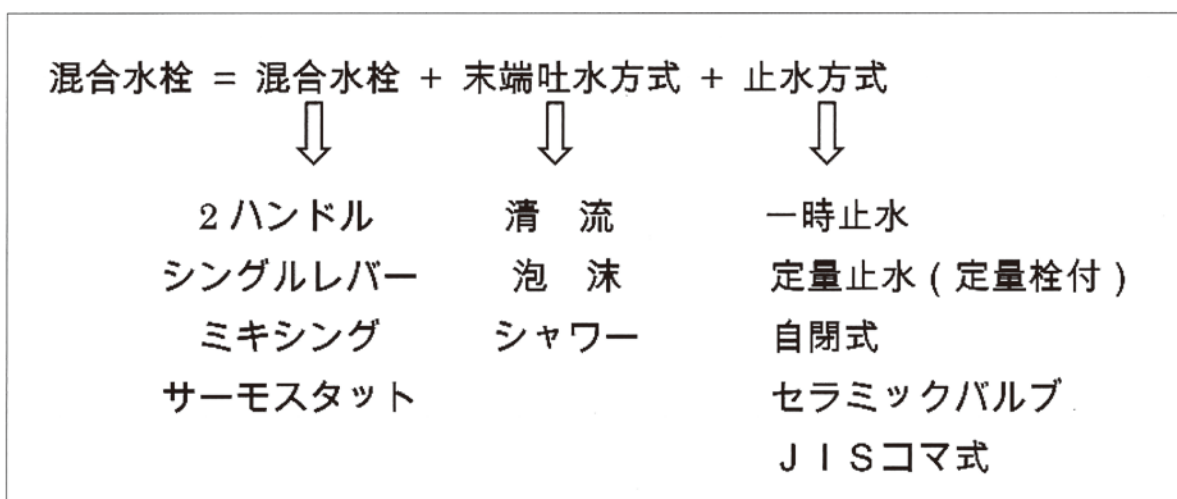
電源のないところでも使用でき、環境にもやさしい配慮がなされている。ここまで来たか、水栓も頑張っているね！



自動小便器洗浄弁の例 〈出典：TOTO HP〉

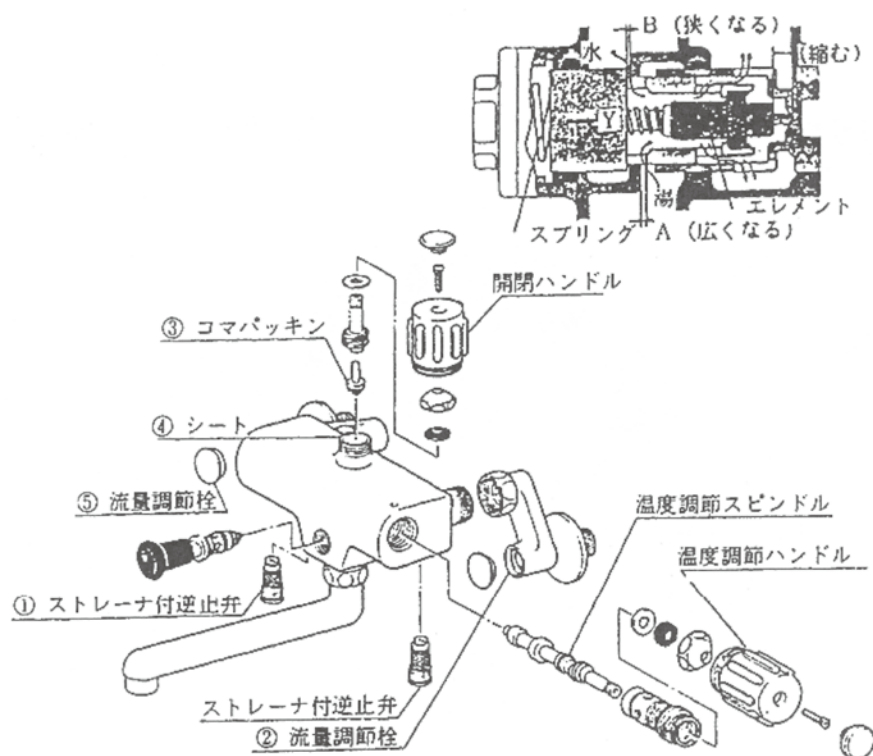
●自動湯水混合栓（サーモスタット式）

湯水混合水栓は、一般に次の3つの方式を組合せてできている。



混合水栓の種類

サーモスタット式は、混合室にあるサーモスタットエレメント（感温部）が、温度変化によってピストンを伸ばしたり縮めたりして、弁の湯、水の隙間を自動調節して水温を一定（指示値）に保つ。

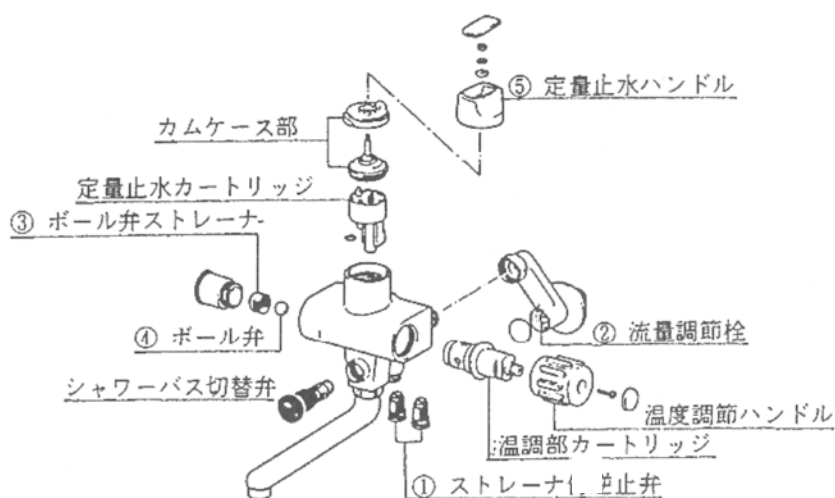


自動湯水混合栓（サーモスタット式）の構造例

●定量止水付き湯水混合栓

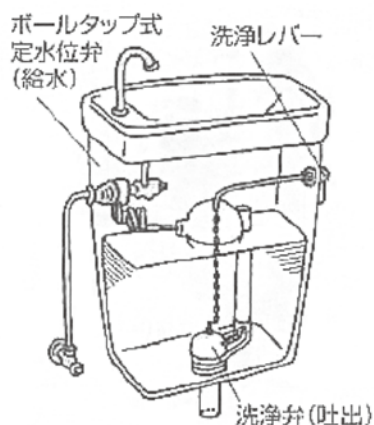
自動湯水混合栓（サーモスタット式）に定量止水機能を加えたものである。

基本的な機構は水道メータと同じように、水路の途中に設けた水車が通過する水（湯）の量に比例して回転する原理を応用したもの。通過する水（湯）の勢いで水車を回転させ、ギアで減速しながらカムやハンドルを回し、所定の位置にくると水（湯）が止まる。



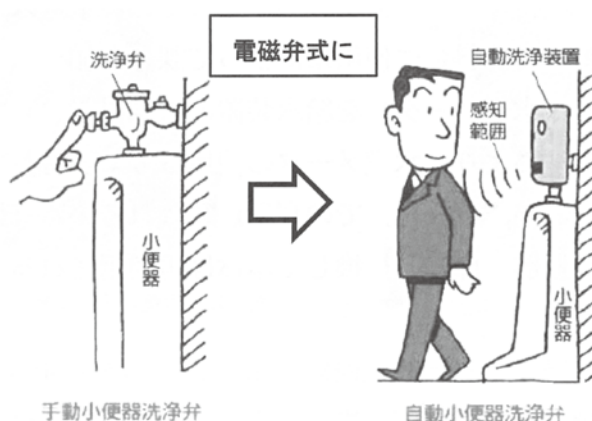
定量止水付き自動湯水混合栓（サーモスタット式）の構造例

●自動洗浄弁



大便器定水位弁と洗浄弁

ロータンク自動給水弁の例 〈出典：トコトンやさしいバルブの本〉



自動小便器洗浄弁の例 〈出典：トコトンやさしいバルブの本〉

●電磁弁（栓類ではなくバルブ類に分類される）

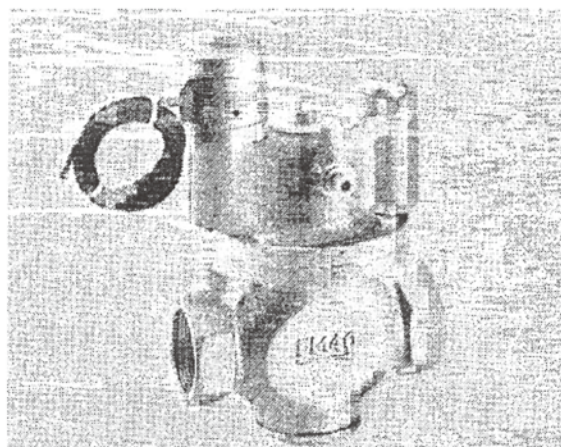
〈進化する水栓〉では、電磁弁という言葉が多数現出している。

電磁弁とは、電磁石の（弁体）吸引作用を利用し、バルブ開閉を電気系統で自動的に行う弁で基本構造は玉形弁である。一般に通電時がバルブ開、非通電時がバルブ閉で電気を入れているときだけ水が流れる構造である。

電磁弁と同様の使い方で、電動弁は、電動機（電気モータ）により自動制御装置の信号を受けてバルブ開閉を電気系統で自動的に行う弁で、基本構造は一般にボール弁である。

最近では、前出の使い方のみならず電気洗濯機の排水弁や洗浄機付き大便器の吐出弁などでも機器用（一般配管用ではなく機器内に設置されるバルブ）として増加している。

電気制御ができるため、センサやシーケンサなどにより自動洗浄などを行うのに向いている。



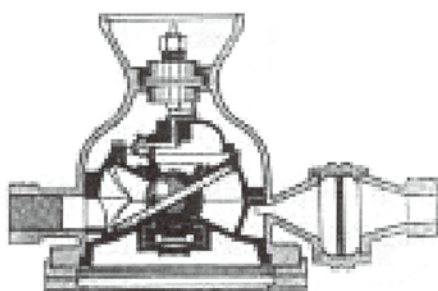
一般配管用電磁弁の例

2-17. 水道メータ（親メータ、子メータ）

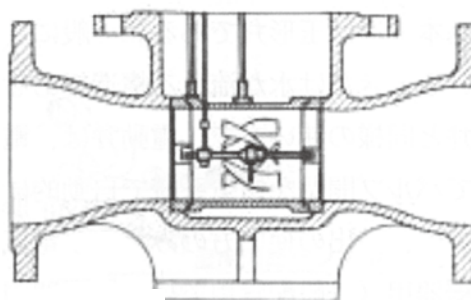
造水・配水及び管理・維持保全などにお金がかかっている水道は、原則有料（課金制）である。呼び径による基本契約料金に使用量によって課金を加算する従量制度が一般的である。このため、計測器（水道メータ）を給水装置の末端に設置して積算給水量を計量する。国内では、現在計量法により、水道メータの使用は8年とされており、期限では新品への交換または再調整品の確認（校正）での利用が行われている。最近では、資源の有効利用の観点から内部の計量器要部のみ交換して本体は再利用される方法もとられている。

〔海外水道メータ〕

水道メータのルーツは、最初の高圧水道メータとして1828年ブルントン（Brunton）のピストン型水道メータであった。この後、英国、ドイツ、米国を主体とする欧米諸国が開発競争（この時期多数の特許が申請されている）により、各種の構造のものが上市された。日本の近代水道が整い始めた19世紀後半には、これら欧米各国の量産品が舶来品として押し寄せていた。



第10図 マイネッケ社の円板メータ



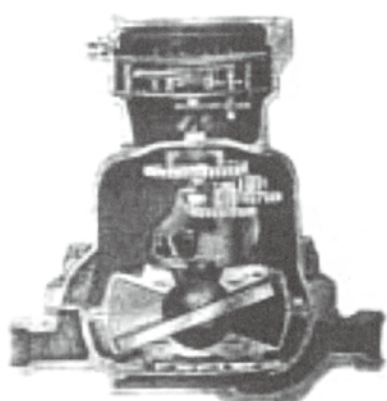
第9図 チームによるウォルトマン・メータ（1893年）

欧州の代表的な水道メータ例（マイネッケ社製円板メータ、ウォルトマン・メータ）

〔国産水道メータ〕

さて黎明期の日本の水道メータはどうなっていたかという、もっぱらドイツのジーマンス社やポップ・ウント・ロイター社など欧州からの輸入に頼っていた。さすがに精密な計量器だけに当初からの国産化は難しかった。十文字大元氏は1903年農商務省より風車、揚水車などの状況調査を嘱託され1903年（明治36年）に渡米し水道メータやガスメータを学び、翌年に帰国し金門商会（現アズビル金門）を設立した。

バルブ（カラン）は、明治の中期には国産化が始まっていたが、さすがに水道メータは大正期に入ってからやっと国産化（量産）された。横浜市の水道博物館には、明治期に輸入された欧州各国製の水道メータが数多く展示されている。



第11図 国産第1号の平円板型水道メータ



国産第一号の平円板型水道メータ（左）と現在の表示部回転式水道メータ（右）例

水道料金の課金目的で設置される水道メータには、親メータと、子メータと呼ばれるものが存在する。もちろんどちらも計測器の同じメータであるが、一般にビルやマンションなど集合建築物1棟への給水を計測する大口径の水道メータを“親メータ”、ビルの店子やマンション各戸毎の給水使用量を計測する比較的小口径の水道メータを“子メータ”と称している。どちらのメータで水道料金を徴収するかは、水道事業体でまちまちである。

水道事業体の料金徴収が親メータのみの場合は、子メータは“私設計器”となり、いわゆる大家さんが各子使用量を検針して親メータの総金額を案分請求する仕組みとなる。

水道メータは、料金を聴取する機器（手段）であるため、通常水道メータは事業体からの貸与機器とされ、受益者の所有物ではない。水道メータは、計量法で8年ごとの校正（ほとんどが交換される）が定められている。

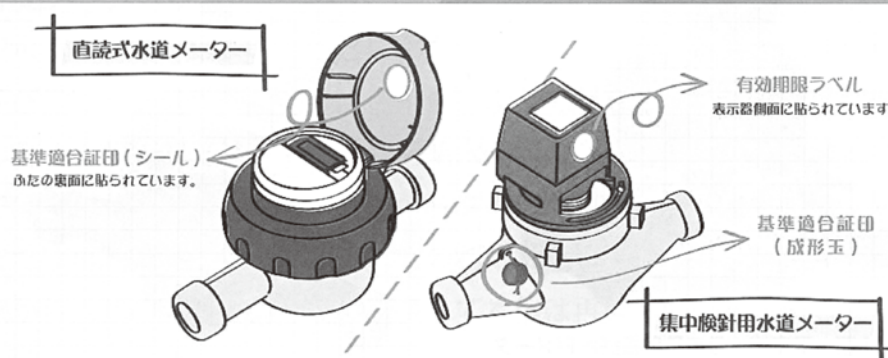
ちなみに水道料金の支払いを怠り督促にもめげずに支払わないと給水停止（水道メータの手前の止水栓を閉め、開閉操作をロック）される。一般に鉛球による封印（：封印玉という）や施錠により水道が使えなくなる。

〈ちょっと一息！〉

水道メータは、計量法により有効期限が定められている。メータの蓋の裏側にシールまたは封印玉に表示（有効期限8年）シールの場合この部分に張り付けられている。封印玉（表に検定証印または基準適合証印、裏に有効期限満了の年月）には、有効期限満了年の表示を和暦で行っているが、2桁数字の前にアポストロフィが付されている場合は西暦となる。

昔は、メータをそっくり交換する方法がとられていたが、最近ではメータのボデーはそのままに内部の計量器要部のみを交換する方法も増えているようだ。以前は、青銅製バルブ铸件素材の元材料を構成する“青銅還元材料”の主体は水道メータのボデーであったが、最近ではこれがリサイクルとして減少していることからこのことがわかる。

水道メータの検定有効期限は8年です



水道メータの基準適合証印例 〈出典：愛知時計電機株式会社〉

ちなみに、温水メータ（カロリーメータ）の有効期限は、水道メータと同じ8年、積算電力計及び燃料ガスメータの有効期限は、10年である。

こんなメータも機種ごとに検定の有効期限が定められています。

家庭用ガスメータ
(都市ガス・プロパン)

10年



電力量計

(単独計器)

(変成器付)

10年

5年又は7年



温水メータ
(13mm～40mm対象)

8年



基準適合証印(シール)
基準適合証印(成形玉)

積算熱量計
(13mm～40mm対象)

8年



基準適合証印(シール)
基準適合証印(成形玉)

各種メータの検定有効期限 〈出典：愛知時計電機株式会社〉

〈次号⑩に続く〉



贖いの日々・・・

人の命を奪ってしまった

私は今までテレビのニュースや警察二四時

等の番組で、飲酒運転による悲惨な交通事故の映像を観ても「自分には関係ない」、「自分は事故を起こさない」と軽く考え常習的に飲酒運転を繰り返していました。

その結果、取り返しのつかない大事件を起こしてしまったのです。

それは、「明日から休みに入る」という日のことです。私は仕事を終えて帰宅すると一人で居酒屋に出かけました。

これから飲みに行くのに、車で行くことに何の罪悪感も持たず、駅前のコインパーキングに車を停めました。

居酒屋ではビール2杯、ハイボール2杯を飲み、ほろ酔い気分になりましたが「車の中で休めば警察に捕まることはない」、「事故さえ起こさなければ大丈夫」と勝手に思い込んでいました。

そしてシートベルトを締め、エンジンを掛けると、よく知っている道だという安心感から、スピードを出して車を走らせました。

道幅は片側一車線でしたが街路灯もあり、視界も良かったことから「事故など起こす場所ではない」と勝手に判断して、制限速度を30キロメートル以上もオーバーするスピードを出していました。

しばらくして、前を走っていた自転車に追いつき、それを追い越そうとすると、急に自転車私の車の方に寄って来ました。

慌ててこれを避けようと、ハンドルを右に切りましたが避けきれず、左側フロントガラスで被害者を撥ねると、「ドーン」という大きな衝撃音が響き、フロントガラスはクモの

巣状態に割れてしまいました。

私は咄嗟の出来事に気が動転してしまい被害者を救護することなく、その場から逃げてしまいました。

私は逃げている途中、事故の大きさからみて被害者は亡くなったと思いました。

自宅まで必死に逃げて来ましたが、自宅の駐車場に停めたのでは警察に見つかると思い、職場の車庫に車を停めました。

そして、これからどうすればいいかを相談するため、職場の上司に電話をしました。事情を聞いた上司は直ぐに職場に来て、近くの警察署に出現するのに付き添ってくれました。

その後私は事故現場を管轄する警察署に連行され、取り調べを受けましたが、その際に被害者が亡くなったことが知らされました。

私はこれまで、人の命を奪ってしまったことなど一度も考えたことがなく、まるで夢でも見ているようでした。

その後も取り調べが続き、私は狭い部屋に収容されました。

翌日には在宅起訴となりましたが、その間何度も「私が死ねばよかった」と思い、自分の軽はずみな行動を悔やみました。

私は在宅起訴になりましたが、御遺族には何一つ謝罪をしていません。今思えば情けないという後悔しかありません。

その後一年近く取り調べを受け、裁判では過失運転致死罪、道路交通法違反（酒気帯び運転・救護義務違反）で懲役4年の実刑判決を受けました。

被害者の未来を奪い、御遺族に大きな悲し

M・T 建築業(30代)

みと苦痛を与えたことを考えれば、4年という量刑は短いと思いました。

私の起こした事故は、テレビ等でも報道されたので、マスコミなどが家に押し掛け、家族は外出するのが苦痛だったと思います。家族には本当に迷惑を掛けてしまいました。

また私の職場は、大手からの仕事が多く、私の名前もお得意先に知られているので、職場にも苦情の電話が来たと上司から教えられました。

私の身勝手な行動から、尊い人の命を奪う重大事件を起こし、会社には多大な迷惑を掛けました。

それでも会社は私を解雇することなく支援をしてくれます。会社や人の温かみを知り、感謝の気持ちで一杯です。

私は、市原刑務所での教育改善プログラムを受ける中で、徐々に御遺族の心情に目を向けられるようになりました。

それでも、どう罪を償えばいいのか明確な答えは見つかっていません。出所してからが本当の意味での償いの始まりだと思っています。

そして、「一生を掛けて償いたい」と決意しています。

今、私に出来ることは、私と同じ過ちが繰り返えされないようにすることです。

過ちを起こしてから、いくら後悔しても遅いのです。

私の私記を読んだ人に「自分本位の甘い考えが、人の命を奪う」という厳しい現実を伝えることができれば幸いです。

第33回

あたまの体操

【問題】下の漢字の読みカナを答えて下さい。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 欠伸 () | 10. 忽然 () |
| 2. 押印 () | 11. 愈愈 () |
| 3. 完遂 () | 12. 追追 () |
| 4. 依存 () | 13. 兀兀 () |
| 5. 遵守 () | 14. 寸寸 () |
| 6. 宛ら () | 15. 然然 () |
| 7. 擦る () | 16. 囁目 () |
| 8. 疎ら () | 17. 端役 () |
| 9. 暫く () | |

【応募方法】

答え、事業所名、氏名、連絡先を明記の上、FAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で5名様にQUOカード券2,000円をプレゼントします。解答は、次号「せせらぎ」2.3月号に掲載します。

尚、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

事業所名:

氏 名 :

所在地 :〒

連絡先 : ()

締切:令和7年2月14日(金)

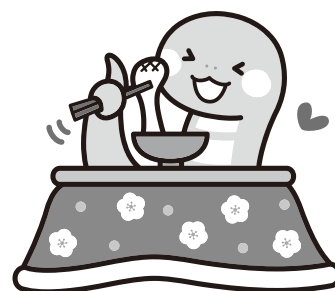
FAX.092-522-5287

～個人情報の取扱いについて～

ご記入いただいた個人情報は、ご応募いただいたプレゼントの抽選・発送のために利用します。他の目的に利用することはありません。

「せせらぎ」10.11月号【解答】

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 総総 (ふさふさ) | 2. 団扇 (うちわ) | 3. 薺 (あさがお) |
| 4. 欠氷 (かきこおり) | 5. 弾劾 (だんがい) | 6. 唆す (そそのかす) |
| 7. 担う (になう) | 8. 質す (ただす) | 9. 煮沸 (しゃふつ) |
| 10. 瓦斯 (がす) | 11. 熟す (こなす) | 12. 杜撰 (ずさん) |
| 13. 強ち (あながち) | 14. 塩梅 (あんばい) | 15. 雪ぐ (すすぐ) |
| 16. 弁える (わきまえる) | 17. 一入 (ひとしお) | |



●前号の当選者には賞品(QUO カード券)を発送しております。ご応募ありがとうございました。

代表者・住所・電話番号・FAX番号変更

△ 株式会社エイショウ 仲野 康子 (旧) 田中 繁
〒812-0055 福岡市東区東浜1丁目193-6 TEL092-643-6608 FAX092-643-6609

組 合 通 信

6-38号 12月18日 令和6年年末における道路舗装状況に関して

組 合 の う ご き

12月 4日 福岡県職業能力開発協会技能検定実技試験水準調整会議が福岡リーセントホテルで開催され松本上水道部長理事が出席した。
12月10日 正副理事長会が組合会議室で開催された。
12月10日 定例理事会が組合会議室で開催された。
12月12日 全管連正副会長、ブロック長、部長会が東京で開催され藤理事長が出席した。
12月17～19日 令和6年度技能検定実技試験採点が福岡人材開発センターで行われ松本上水道部長理事(技能検定員)が出席した。
12月18日 広報・企画・情報委員会が開催された。
12月21.22日 令和6年度技能検定実技試験採点がポリテクセンター 飯塚で行われ松本上水道部長理事(技能検定員)が出席した。
12月23日 津山税理士による会計精査
12月28日 仕事納め
1月 6日 仕事始め
1月 9日 定例理事会が西鉄ソラリアホテルで開催された。
1月 9日 新年賀詞交歓会が西鉄ソラリアホテルで開催された。

本年も「せせらぎ」をご愛読いただきますようお願い申し上げます。

編集人：広報・企画・情報委員会

委員長	藤岡 昭太	理 事	岩下 達也
副委員長	石田 大輔	理 事	山下 裕美
委 員	安藤 浩純	理 事	石井 純友
委 員	大久保秀則	事務局	江頭 孝一
委 員	高野 学	事務局	松本 悟
委 員	野崎 寛	事務局	竹浦 諒
委 員	八木 龍治	事務局	原 亜由美